



一般社団法人

AIガバナンス協会

AI Governance Association

AIGAのご紹介と 「AIガバナンスナビ」から見える企業実務の課題

1. 団体概要



一般社団法人
AIガバナンス協会
AI Governance Association

一般社団法人AIガバナンス協会は、AIに関わるあらゆるステークホルダーが集まるフォーラムとして、適切なリスク管理を通じてAIの価値を最大化する取組である「AIガバナンス」があたりまえのものとして定着した社会の実現をめざします。

一般社団法人AIガバナンス協会 = AIGAが重視する価値

イノベーションの促進

マルチステークホルダー
での信頼構築

社会的な価値の実現

2024年10月一般社団法人化。民間発の自主取組と渉外・提言活動を拡充

2024/10/25 設立記念シンポジウム



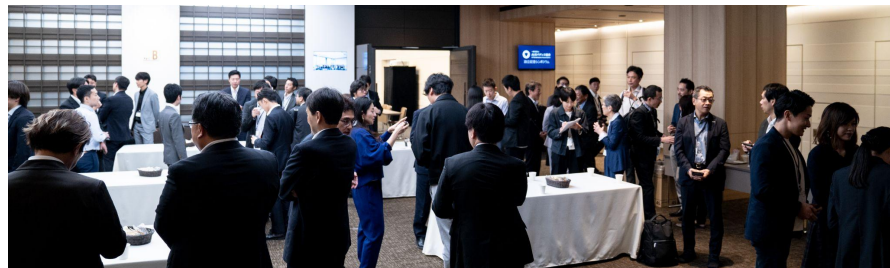
新体制のご紹介と役員挨拶を実施

「AIガバナンスナビ」のトライアル報告セッション

産学官を横断し、AIガバナンス領域のリーダーが登場
自民党（デジタル大臣）、日本マイクロソフト、KDDI、
博報堂DYホールディングス、AI Safety Institute、
GPAI東京専門家支援センター、産業技術総合研究所



一般社団法人化は[EnterpriseZine](#)、[NIKKEI Tech Foresight](#)、[日経XTECH](#)などで
取り上げられ注目が集まる



業界やバリューチェーン上の立場をまたがり、多様なプレイヤーが参画

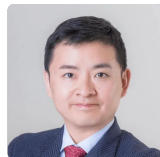
正会員 67社(和名五十音順) *2024年10月現在。一部企業のロゴは未掲載。



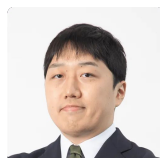
有識者会員(五十音順)



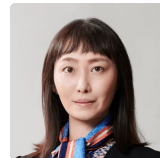
市川 謙
一橋大学イノベーション研究
センター特任教授



岡田 淳
森・濱田松本法律事務所
パートナー弁護士



角田 隆哉
弁護士



日置 巴美
三浦法律事務所
弁護士・パートナー



福岡 真之介
弁護士

金融

保険

通信

IT

グローバルテック

HR

製造

インフラ

⋮

活動状況サマリ

AIの開発・提供・利用まで多岐にわたる会員の知見・リソースを活用し、
以下の取組を推進

1. AIガバナンス実践の指針づくり

2. 実践知をふまえた政策提言や認証制度の検討

3. 渉外活動・関係者のコミュニティづくり

AIガバナンス研究会: 企業事例を紹介しあい、知見を蓄積

- 「組織体制」をメインテーマに2回、「プロセス」をテーマに2回研究会を開催
- 2024年8月、集積した知見をまとめたワーキングペーパーを発行

過去の登壇企業

NTT DATA

Orchestrating a brighter world

NEC



KONICA MINOLTA

MIZUHO

みずほフィナンシャルグループ

RECRUIT



SOMPO

ホールディングス



MUFG

三菱UFJフィナンシャル・グループ

一生涯のパートナー

第一生命



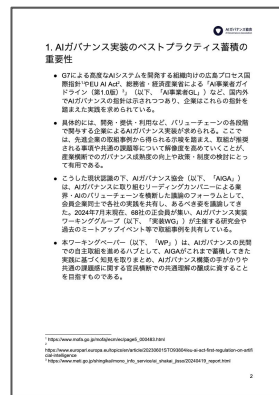
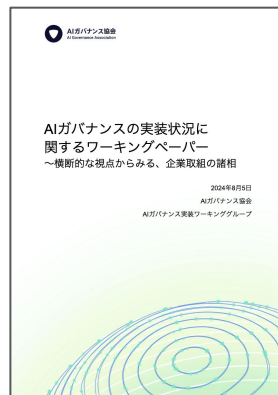
Dai-ichi Life Group



セブン銀行

ベストプラクティスの集積

- 各社の取組のうち、ベストプラクティス・モデルケースとなるものをピックアップ
- ワーキングペーパー発行に加え、後述の「自己診断ツール」開発にも知見を活用



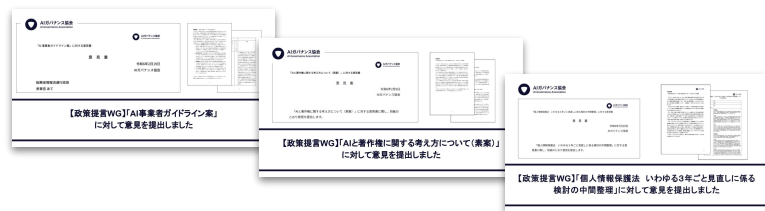
一般社団法人
AIガバナンス協会
AI Governance Association

政策提言: 会員意見を集約し、パブコメや政策提言を積極的に実施

- 生成AIの流行に伴い、急速に変化する各種政策・ガイドライン類について、会員意見を集約してパブリックコメントを提出
- 自民党やAI制度研究会の検討を背景に、積極的な政策提言も実施

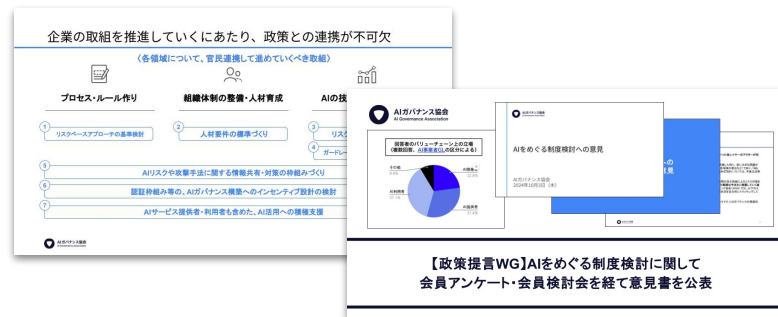
各種政策・ガイドライン類へのパブコメ提出

- AI活用と関連する各種政策類について、会員アンケートを機動的に実施しパブコメを提出。具体的には下記など
 - [AI事業者ガイドライン](#)
 - [著作権に関する文化庁取りまとめ](#)
 - [個人情報保護法の改正検討](#)



重要アジェンダについての政策提言

- 2024年4月、[自民党AIPTへ意見提出](#)
- 2024年10月、AI制度の検討についてのアンケート結果を踏まえた[政策提言を公表](#)



認証制度の検討: 認証への会員ニーズや、あり得るオプションを整理



- 認証・標準WGの活動成果として「[AIガバナンス認証制度に関するディスカッションペーパー ver 1.0](#)」を発行
- 策定プロセスでは、会員全体へのアンケート調査や、深掘りのインタビュー調査を実施。**AI開発者・提供者・利用者それぞれの視点でのニーズや課題を明確化**
- 今後様々な議論のフォーラムで本検討成果の発信や、残された論点の議論提起を行っていく予定

AIガバナンスをめぐるコミュニティづくり

2024/2/21 自民党AIPT登壇



2024/3/21 AIGA Meetup #1



2024/4/19 駐日EU代表部イベント



2024/6/17 村井官房副長官との対談イベント



EUの標準団体関係者や
Yale大学の中国情報法の専門家とのセッション

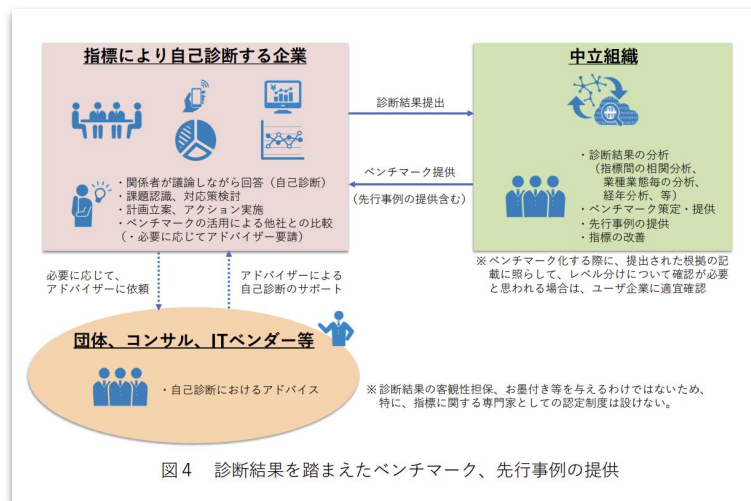


2. AIガバナンスナビから見える課題

AIガバナンスナビ: ガバナンス実装状況の自己診断ツール

- 「AIガバナンス行動目標」の実現のために必要なアクションアイテムをリスト式に整理し、**自社のガバナンス進捗度を測れるツール（AIガバナンスナビ）を作成**
 - リストは研究会で蓄積した実事例と、行動目標からの示唆を組み合わせで作成
 - 国内外の規制・ガイドラインとの対応も整理
 - 大枠は維持しつつ、技術環境や規制・ガイドラインの変化に対応して随時見直し
- 定期的に会員アンケートを行い、AIGAに参画する民間企業全体での進捗度や課題を確認

活用イメージの参考: DX推進指標



AIガバナンスナビ: AIガバナンス実装のロードマップの必要性から策定

AIGAのこれまでの活動を踏まえて聞かれた課題意識

- 「行動目標」、政府ガイドラインや各種標準において定められた原則の社会実装のロードマップが不在
- 先進企業の事例などの蓄積を、自社にも適用できる学びとして昇華させる一歩が遠い



AIガバナンスナビのねらい



実践のスタンダード作り

- ✓ AIガバナンス実装WGの議論を踏まえた、AIガバナンス構築のアクションの大枠を整理
- ✓ 2月に定めた「**行動目標**」を実装に移すための取組リストとして取りまとめ、実装を加速



活動のペースメーカー

- ✓ AIGA会員で定期的に自己診断を実施し、諸産業全体としての進捗度を把握
- ✓ 項目別に自己診断の結果を分析し、AIGAが次にフォーカスすべき領域を特定

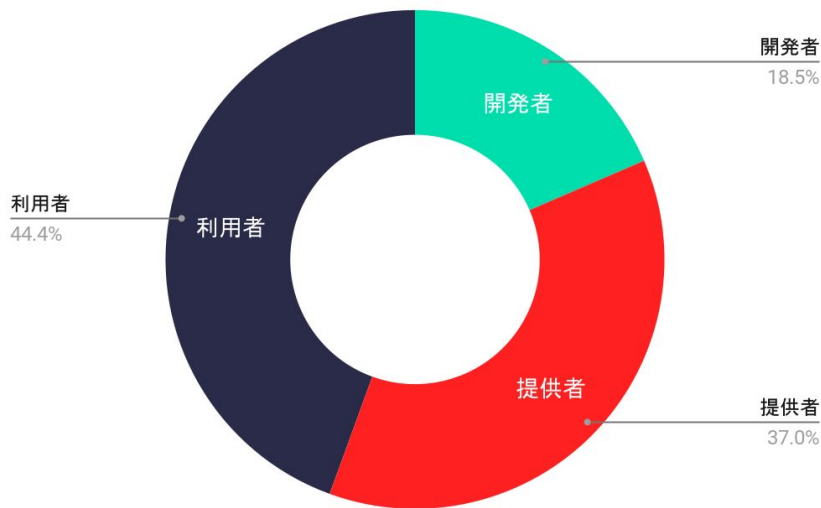


政策・標準との接続

- ✓ 「行動目標」同様にAI事業者ガイドライン等への対応関係を明確にし、政策への対応状況も把握・発信

多様なユースケースの回答が集まっている

回答者のAIバリューチェーン上の属性(複数回答可)

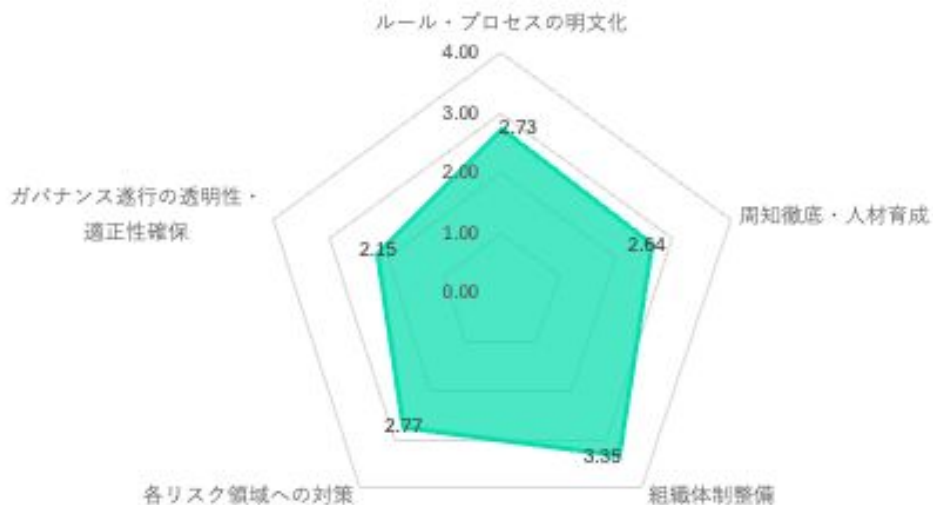


- 開発～提供～利用それぞれの立場からの回答が集まっている(計15の企業がトライアルに参加)
- 業界としても、IT・通信・保険・証券・銀行・インフラ・製造など多様
- ユースケースはいずれも生成AIだが、タスクは多岐にわたる
 - 社内文書作成
 - 社内情報をRAGで提供するQ&Aチャットボット
 - 顧客向けチャットボット

取組全体としては組織づくりが先行。個別リスク対応や透明性確保が課題

全体平均: **2.70**点

β版回答者の領域別平均点



- 「組織体制整備」については全ユースケース平均が3を超え、**司令塔の設置などの取組の進捗**が窺える
- その他については概ね横並びだが、「**透明性・適正性確保**」についてはややスコアが低く、取組余地が大きい

**取組内容等の詳細は
自己診断を行った会員間で共有**



一般社団法人

AIガバナンス協会

AI Governance Association